

河北台中学校

河北台中学校校長 竹内 幸明
1年学年主任 山崎 雅子



はじめての中間テストが終わりました！



5月28日・29日に中学校生活初めての中間テストが行われました。テスト期間の家庭での学習の取り組みの様子はどうだったでしょうか。どうしても点数に目がいきがちですが、テストの目的は「自分は今何ができる、何ができないか」を知ることです。自分が勉強してきたことがテストでできているかどうか、また勉強は十分だったなどを振り返り、次のテストにつなげていって欲しいと思います。ご家庭でも、点数の話だけでなく、それまでの過程についても一緒に振り返っていただき、できていたこと、頑張っていたことはぜひ認めてあげ、次のテストに向けて励ましの言葉をかけていただければ、生徒にとっても次のテストによい形でつなげていけるのではないかと思います。ぜひご協力よろしくお願ひいたします。

自然体験学習では「礼儀」と「協力」を学びました。



スポーツレクリエーションでは、伝えることの難しさや協力、ちがいを認めることを学びました。

【生徒感想より】

複数人で目標を達成するためには、一人一人の意見に耳を傾け、その意見を尊重し、実行に移すことが大切。自分は結構自分のやり方でやってしまうので、今後は人の意見を積極的に取り入れていきたい。

今回のレクリエーションで、それぞれの人の強みを活かして、他の意見について考えることや、言葉で相手に伝えようとするには、伝え方が大切だということを学んだ。これから学んだことを活かして、スムーズな意思伝達や、人の強みを理解して、どうしたらその人を活かすことができるのかを考えたいと思った。



写生大会では、校舎を見つめ、感じとり、描く1日となりました。



総合学習で「地域防災」について学んでいきます。

5月23日（金）に、七塚健康福祉センターで避難所運営ゲーム「HUG」を行いました。HUGとは、災害時の避難所を運営する側の役割を体感するゲームです。次々と困難を抱えた避難者カードが届くたびに、グループで話し合い、対応を考えていきました。

【生徒感想より】

- ・避難所運営では、たくさん的人がこんなに大変なことをしてくれていることに気づけた。 1組 桶谷 花純
- ・来た人に寄り添うことや、臨機応変に対応すること、思いやりが大切だと感じた。 1組 酒本 陽菜
- ・役割分担をすること、条件をそろえること、細かく振り分け、協力することが大切だと感じた。 2組 福田 陽翔
- ・一人一人の願いを少しでもかなえようと心がけたが、運営側の大変さに気づいた。 2組遠田 こころ
- ・災害の時はパニックになり、正しい判断ができなくなるから、そういう人を助ける人になれたらいいことに気づいた。 3組 高井 穩
- ・最初は、そんなに大変か？と思ったけど、やってみるとすごく大変で、現実だったらもっと大変だと思うとすごいなと思った。 3組 西 晋太朗

